

寄付

株式会社 TheSEED 様
 風の詩 小川健治様 富子様
 伊東徹様 治代様
 株式会社 フレーベル館様



交流

読み聞かせボランティア きらめき様
 木工ボランティア 菱田夫妻様
 学習ボランティア 紀藤信哉様
 散髪ボランティア 野口伏美様 伊石裕司様



令和4年度 学園だより 第564号



号

編集・発行

川奈臨海学園

〒414-0044 伊東市川奈 509-7

TEL 0557-45-0509 FAX 0557-45-5169

E-mail rinkai-g@ninus.ocn.ne.jp

URL <http://kawana7.ec-net.jp>

ハロウィン

10月31日伊東の商店街で開催されたハロウィンイベントに参加してきました！



編集後記

夏の暑さも和らぎ過ぎやすい季節となりました。服装の変化もある一方でまだ暑く感じる日は多く10月後半ではありますが半袖で過ごしている自分がいます。子ども達もまだまだ元気な半袖で生活している子も多いですが、気温には気をつけながら、風邪を引く事なく元気に年がこせば良いと感じています。

(児童指導員 大高英也)

お知らせ

帰省期間

11月18日～11月20日

12月23日～1月4日

2月17日～2月19日

帰省については児童相談所の許可のもと、各御家庭へ連絡しておりますので、宜しくお願い致します。尚、予定されている帰省期間は、新型コロナウイルスの状況に応じて変更する可能性があります。ご承知のほどお願い申し上げます。また各ご家庭におきましても、感染対策の徹底を宜しくお願い致します。

読書の秋・魅力の秋



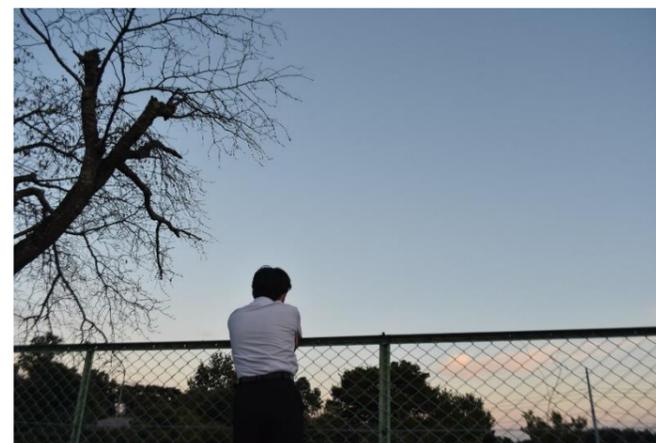
施設長 竹居昭子

「おりたちて 今朝の寒さを 驚きぬ 露しとしとと 柿の落葉深く」(意味は、朝庭に降りて、外の空気の冷たさに驚いた。露を含んだ柿の落葉が深く降り積もっている。秋はこんなにも深まったのだな。)作者は伊東佐千夫です。朝夕の寒暖差も多くなりました。時間に追われる毎日ですが、読書や芸術に触れることで少しでも人としての奥行きを深める事が出来ると良いと思います。

子どもたちには、いろいろな体験をさせてあげたい、コロナ禍における制限はまだありますが、少しずつ行事や活動ができるようにと計画を進めているようです。大舎制からユニットとなり、全体行事ではなく、ユニットごとで子どもと職員と話し合い、行事に取り組むことを進めています。子どもたちも「楽しむ」機会を多くしてあげたいと思います。職員も一緒に思いっきり「楽しむ」ことができるように取り組んでほしいと思います。

秋は過ごしやすい季節であり、秋の魅力に大いに触れてほしいと思います。自然に触れてゆったりとした時間を過ごすことも子どもたちにとってよい経験となるのではないかと思います。「楽しむ」活動を通して子どもたちの成長を期待しています。

ご報告として、隣接する静岡県立東部特別支援学校川奈分校の解体工事が進んでいます。令和5年1月までを予定されています。臨海学園と川奈分校が大きく変化していきますが、「今、できることとすべきことをコツコツと取り組む」を継続していきます。また退園生へ定期的に施設整備や解体工事の様子と学園周りの季節の移り変わる様子を写真で伝えています。先日ある退園生から「竹居ちゃんの連絡ありがたいし、学園が新しくなった写真は良いけど季節の写真は仕事が忙しくて感じている余裕はないんだよね。」とありました。それぞれ社会で頑張っている報告は嬉しいことです。私も「今、できることとすべきことをコツコツと取り組む」を継続していきます。



(夏が終わり秋の夕暮れを感じる在園生。)



(川奈分校建て壊し中の写真)

連絡事項

身長	cm
体重	kg

小さい秋みつけたよ

10月8日、幼児ユニットでは、雨続き日々の晴れ間を見つけて小室山公園に遊びに行きました。涼しくなった風を感じながら、広場にある遊具で遊んだり、芝滑りをしたり、走り回ったり思い切り身体を動かしましたが、子ども達の体力は凄く、疲れる事は最後までありませんでした。

ふと、足元を見てみるとどんぐりが落ちている事に気が付きました。「あそこにも」「ここにもあった」と次々に見つけていきます。帽子をかぶったもの、大きいもの、小さいもの。自分の見つけたどんぐりを説明しながらお互いに見せあって楽しみました。また拾った落ち葉で可愛い顔を作ったりと、子どもならではの楽しみも満喫しました。

肌で、目で、感触で秋の訪れを子どもたちと一緒に感じることができました。次は冬の訪れを探しに出かけたいと思います。

児童指導員 山梨綾



按針祭花火大会

コロナの影響で去年は中止となってしまった按針祭花火大会が今年は開催されることとなり、わかなの子ども達はいつもよりテンション高く興奮しながら参加をしてきました。

日中では松川沿いの屋台を巡り、目をキラキラと輝かせながらどれにしようか迷いつつ、リンゴ飴や焼きそば等に舌鼓しつつ、射的や輪投げ等のゲームもそれぞれ楽しんでいる姿を見ることが出来ました。

日が暮れ始めると按針祭のメインイベントの花火の時間が近づいてきました。私たちは伊東の浜に場所をとり特等席で見る事が出来ました。花火は色鮮やかで迫力があり、子ども達は釘付けになっていました。

改めて感じたのは伊東にとって按針祭はとても大事な風物詩であり、無くてはならない存在だと思いました。

(保育士 上野麗奈)



ハッピーハロウィン

8月23日、男子ユニットで三島方面への外出にきました。まずは秋物の洋服を買いにGUへ。

中高生の男の子達なので自分で選んでいる姿を見ると、昔は職員と一緒に選んでいたなあと子どもの成長を感じる事が出来ました。買う物をサッと決める子が多く、見ていて気持ちよいくらいでした。

その後はモスバーガーを購入し車内で昼食を摂りこの日のメインイベントの映画鑑賞にサントムーンへ出かけました。観た映画は「ジュラシックワールド」です。

以前より子ども達の希望があったので、迫力満点の映像を見ることができとても満足した表情をしていました。

コロナ禍でなかなか外出できない日常から徐々にではありますが解放され、もっと外で子ども達の笑顔が見たいなと感じた一日であり、今後も感染対策には気をつけ元気に年が越せることを祈っています。

(児童指導員 青木雄佑)



(2)

ハロウィンに向けて子どもたちと一緒に女子ユニット内の飾り付けをしました。折り紙でかぼちゃを折ったりキャンディの形を折ったりしました。かぼちゃには顔を描き、個性が詰まった飾り付けができ、可愛い飾り付けで季節感を感じさせてくれました。

ハロウィン当日は、サツマイモを薄く切りそれを油で挙げてサツマイモチップスに。アイスも用意してディップしながら子どもたちは普段とは違うおやつを美味しそうに食べていました。

子どもたちからは「トリックオアトリート！」の聲が部屋に響き、職員から子どもたちにお菓子を渡しました。お菓子を貰った子どもたちは喜んでおり、一番の目的はやっぱりこれなんだなと感じました。

今回仮装は出来ませんでした。来年は仮装して外でやってみよう！といった声もあったので、どんな仮装にするか子ども達と今から考えたいなと思います。

(児童指導員 上村紗矢)



(3)